

道徳教育

道徳のもととなるのは人権感覚

今年の4月から小学校において道徳が特別の教科として実施されます。(中学校は2019年度から) 学習指導要領による目標には「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める。学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とあります。また、今回の学習指導要領改訂の背景には「深刻ないじめの本質的な問題解決に向けて」とあります。

学校教育における道徳は大切なことではありますが、道徳のもととなるのは人権感覚であり人権意識だと思います。なぜなら、人のことを考え思いやる気持ち、人を大切にすることができずに、道徳として正しい判断はできないからです。自分勝手な行為や人を傷つける行為が道徳として正しいわけがありません。道徳教育も人権教育も子どもたちにとって重要なことに間違いありません。子どもたちを正しく導く学校教育を期待します。



山梨IDAHOメッセージ展

先日、甲府市役所にて「山梨IDAHOメッセージ展」が開催されました。開催したのは、LGBTに関心のある方たちのサポートをしているCoPrismです。LGBTに対する差別や偏見は人権問題であり許されるものではありません。ここではCoPrismの活動を紹介します。



CoPrismの活動紹介

山梨県甲府市を中心として、多様な性のあり方について発信し、どんな性でも生きていく場所を増やしていくことを目的とした団体です。セクシュアルマイノリティの自認がある人や、セクシュアリティ(性のあり方)に関心がある人がスタッフとなり、運営しています。

CoPrismが目指す社会像

- ・どんな性であっても個々人が自分自身のあり方を肯定できる社会
- ・お互いにさまざまな性や生き方があることを知り、共生できる社会

活動報告

人権啓発パネル展

2月8日～2月21日、甲府市役所・甲府市南西公民館にて「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。



人権啓発講演会

2月14日に甲府地区広域行政事務組合消防本部、2月15日に甲府市役所にて、人権啓発講演会を開催いたしました。



パンダのキャラクター

より人権を親しみやすく考えていただこうと、パンダのキャラクターが人権啓発パネル展を盛り上げました。

